

# 八代市立学校再編等基本方針 ～子供たちの未来を育む学校づくり～ の概要

## 1 基本方針の位置づけ

八代市教育振興基本計画及び八代市立学校再編等審議会からの答申（令和7年4月）等を踏まえ、より良い教育環境を整えることを目的とし、学校再編等に係る基本的な考え方やそれを具現化していくための方策等を示したものです。

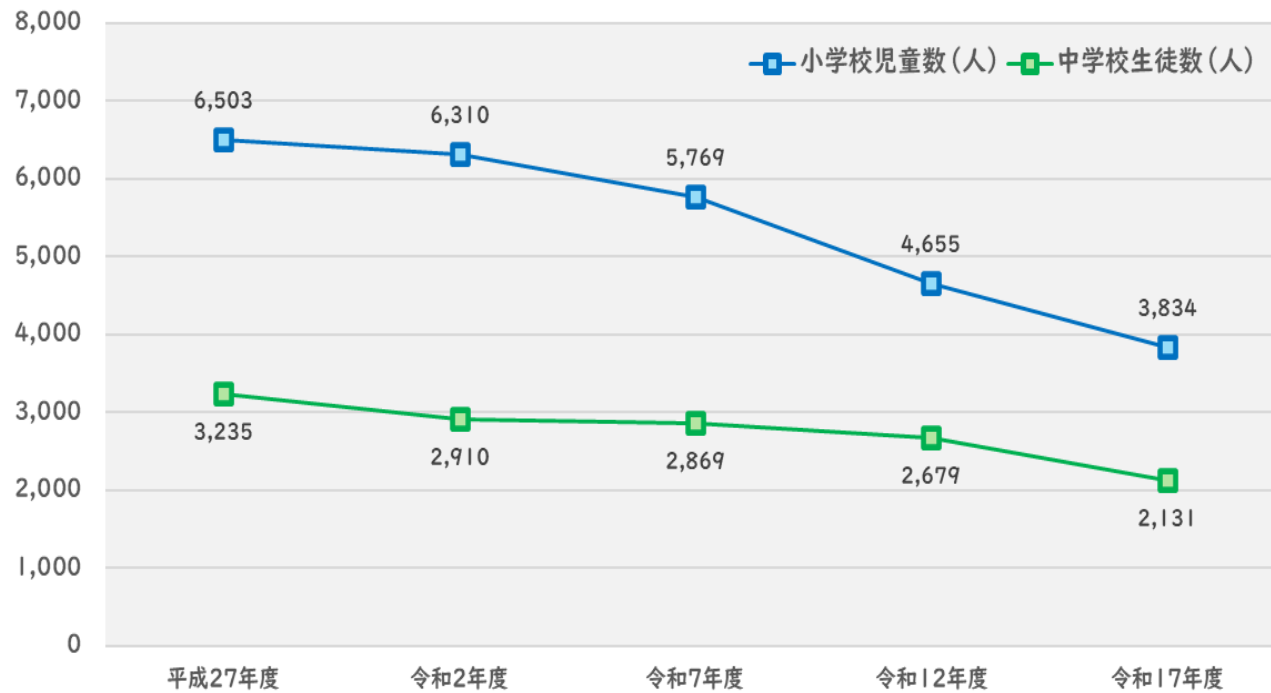
## 本市の課題

- 少子化に伴う学校の小規模化と学級の少人数化が進んでいます。
- 児童生徒一人一人にきめ細かな指導・支援ができたり、異年齢集団の活動を設定しやすかったりする一方で、球技や合唱などの集団での活動が制約されるとともに、多様な考えに触れる機会が不足したり、クラス替えができず人間関係が固定化したりするなどの状況が見られます。

## 2 八代市の状況 児童生徒数の推移

- 平成27年度→令和7年度・・・児童数：11.3%減 生徒数：11.3%減
- 令和7年度→令和17年度（予測）・・・児童数：33.5%減 生徒数：25.7%減

八代市立の小中学校に在籍する児童生徒数の推移



## 八代市の状況 学校施設の状況

- 現在、全体の約7割の施設が築30年以上経過し、約2割が築50年を超えており、10年後には約6割の施設が築50年以上となる見込みとなっています。
- オープンスペースや校内教育支援センターなどの多様な教育ニーズに対応するための施設が不足するといった新たな課題が出てきています。
- 老朽化・長寿命化の対策を進めるとともに、防災機能の強化や衛生環境の改善、多様化する教育活動に柔軟に対応できる教室環境の整備、バリアフリー化など新しい時代に即した学習環境への対応が必要となっています。

## 八代市の状況 学校規模の状況

- 令和17年度（予測）  
 クラス替えのできない学年を有する割合・小学校：約8割 中学校：約5割  
 複式学級を有する割合・・・・・・・・・・・・小学校：約4割 中学校：約2割

### ※学級数による学校規模の分類

学校規模	過小規模	小規模	適正規模		大規模	過大規模
			統合の場合			
学級数	1～5	6～11	12～18	19～24	25～30	31以上

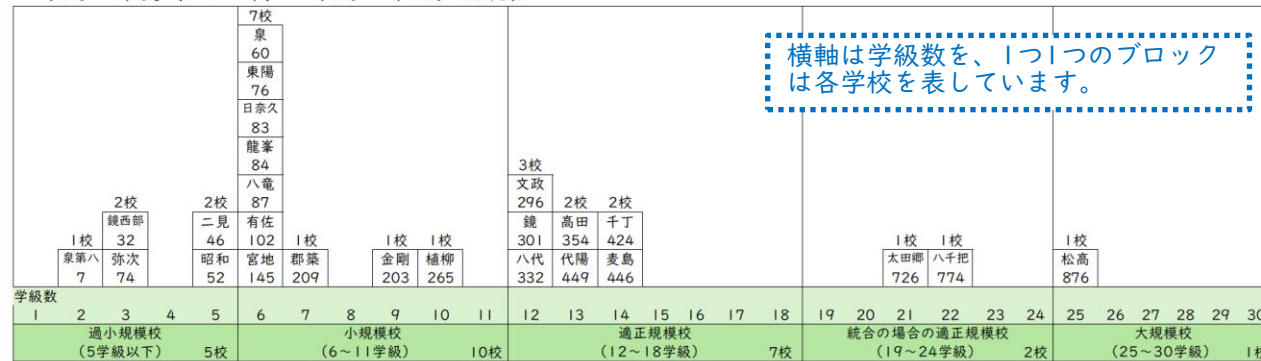
### ※令和7年度学級編成基準（熊本県教育委員会）

校種	学級編製の区分	編制基準
小学校 (義務教育学校の前期課程を含む)	・単式学級（同学年の児童で編制）	35人
	・複式学級（1年生を含む複式）	8人
	・複式学級（上記を除く複式）	16人
中学校 (義務教育学校の後期課程を含む)	・単式学級	
	第1学年	35人
	第2～3学年	40人
	・複式学級	4人

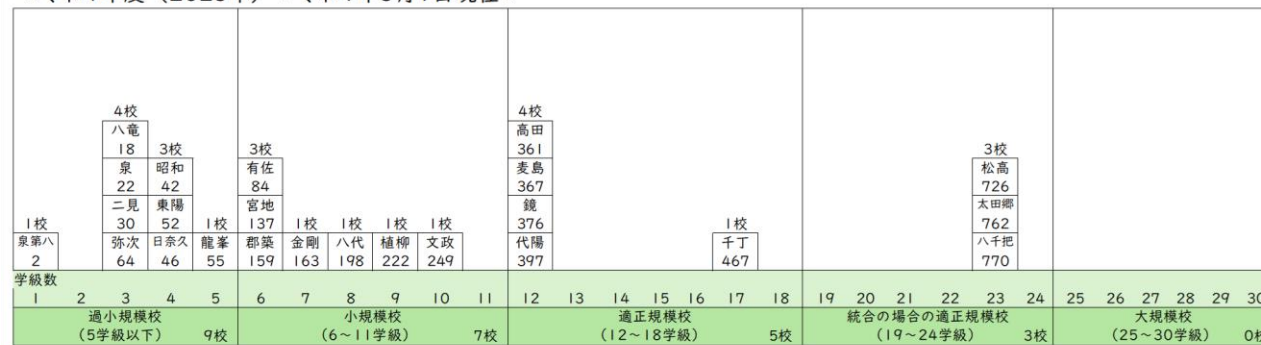
# 八代市立学校再編等基本方針～子供たちの未来を育む学校づくり～の概要

## 小学校規模別分布と児童数

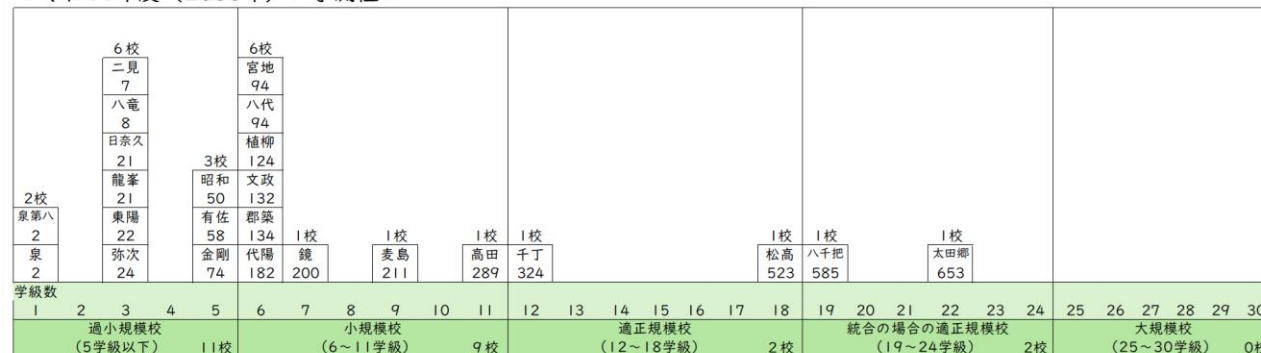
≪平成27年度（2015年）：平成27年5月1日現在≫



≪令和7年度（2025年）：令和7年5月1日現在≫



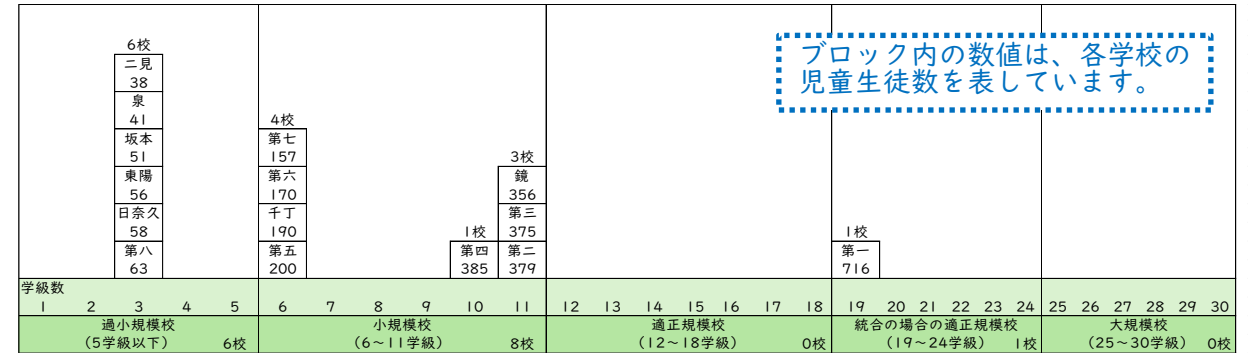
≪令和17年度（2035年）：予測値≫



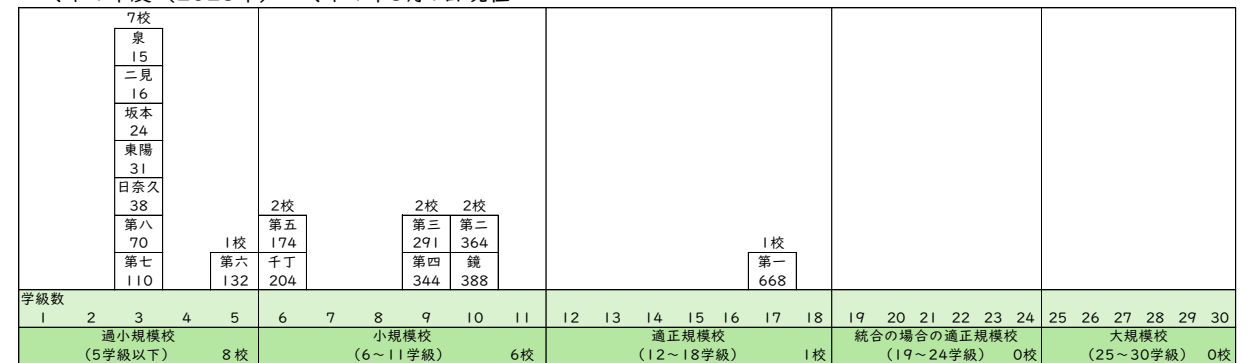
○平成27年度、令和7年度、令和17年度の学校の状況を比べると、学校の小規模化が進んでおり、クラス替えができない学校や複式学級を有する学校が増加していることが分かります。

## 中学校規模別分布と生徒数

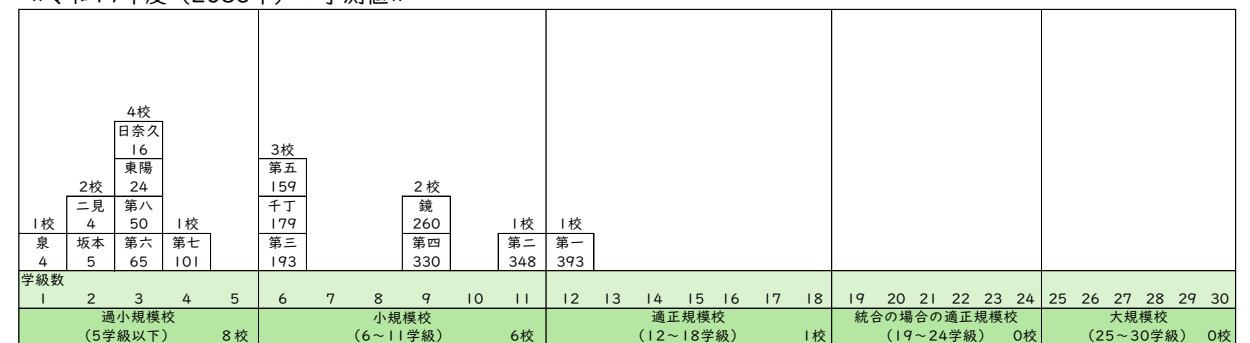
≪平成27年度（2015年）：平成27年5月1日現在≫



≪令和7年度（2025年）：令和7年5月1日現在≫



≪令和17年度（2035年）：予測値≫



### 3 基本的考え方①

#### 学校再編の方向性

○学校教育においては、単に教科等の知識や技能を習得させるだけでなく、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、思考力・判断力・表現力、問題解決能力、社会性などを育み、これからの時代を心豊かにより良く生きる力を身に付けさせることが重要になります。

○今後、学校・地域が直面している課題を総合的に解決していくため、「八代はひとつ」の考えのもと、学校・家庭・地域・行政が連携・協働して、全ての学校・地域の「より良い教育環境づくり」と「魅力ある学校・地域づくり」に全市的に取り組みます。

### 基本的考え方②

#### 望ましい学校規模

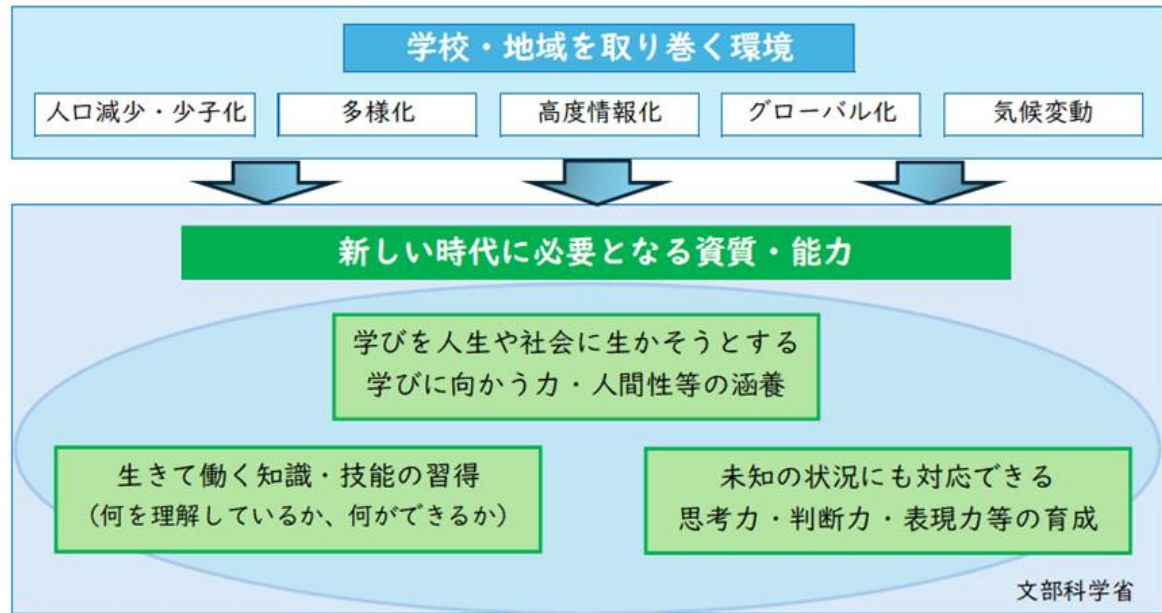
○法令等による国の考え方、八代市立学校再編等審議会からの答申、市立の小・中学校の実情等を踏まえ、より教育効果を高めることができる、望ましい学校規模を次のとおりとしました。

校種	国（文部科学省）	八代市
小学校	12学級以上18学級以下	12学級以上24学級以下
中学校	12学級以上18学級以下	9学級以上18学級以下

学級数は特別支援学級を除く

魅力ある学校づくり

○学校・地域を取り巻く環境は年々変化しており、予測困難な時代となっている今日、未来を担う子供たちが夢と希望をもって、自他を大切にしながら安心して過ごし、楽しく学ぶことができる魅力ある学校をつくるのが大切です。

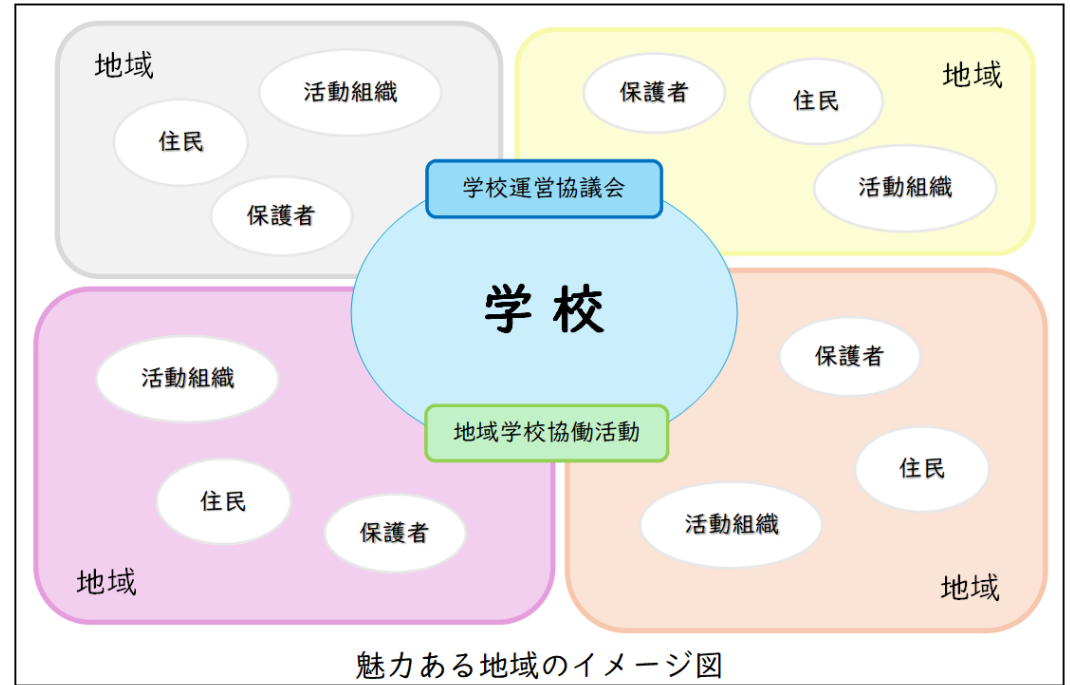


○学校施設の整備をはじめ、一定の規模の児童生徒集団による協働的な学びや集団活動をより充実させるなど、下記の実施等を進めることにより、魅力ある学校づくりを進めていきます。

一定の規模の児童生徒集団における個別最適な学びと協働的な学びの創出	小学校における専科指導や教科担任制による専門的な指導の充実	中学校における免許外教科指導の解消
児童生徒が安全・安心な学校生活を送ることができるよう、学校施設の整備と保護者及び地域からの支援体制の充実	特色ある教育課程の編成と特色ある教育活動の実施	児童生徒の居場所があり、多様な教育ニーズに対応できる空間の確保（オープンスペース、校内教育支援センター、相談室等）
	チーム担任制の導入による指導体制の充実	

魅力ある地域づくり

○子供たちにどのような力を育てていくのかという目標を学校・家庭・地域で共有するとともに、互いに連携・協働し、ふるさと八代の未来を拓く子供たちを育てる魅力ある地域をつくるのが大切です。

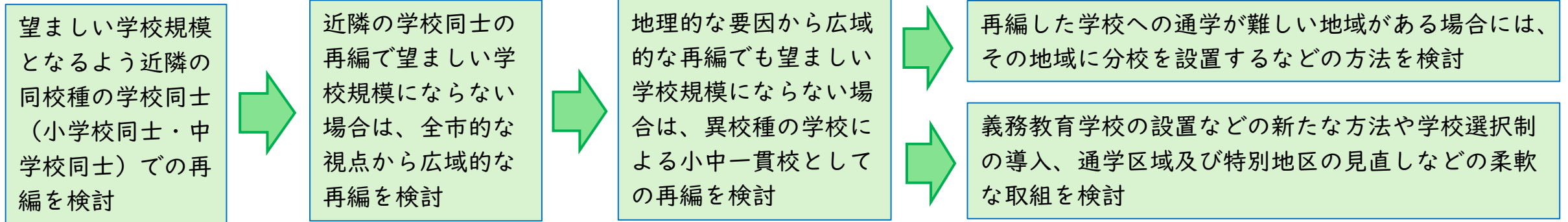


○防災拠点の整備をはじめ、地域人材によるサポート体制や交流活動をより充実させるなど、下記の実施等を進めることにより、魅力ある地域づくりを促していきます。

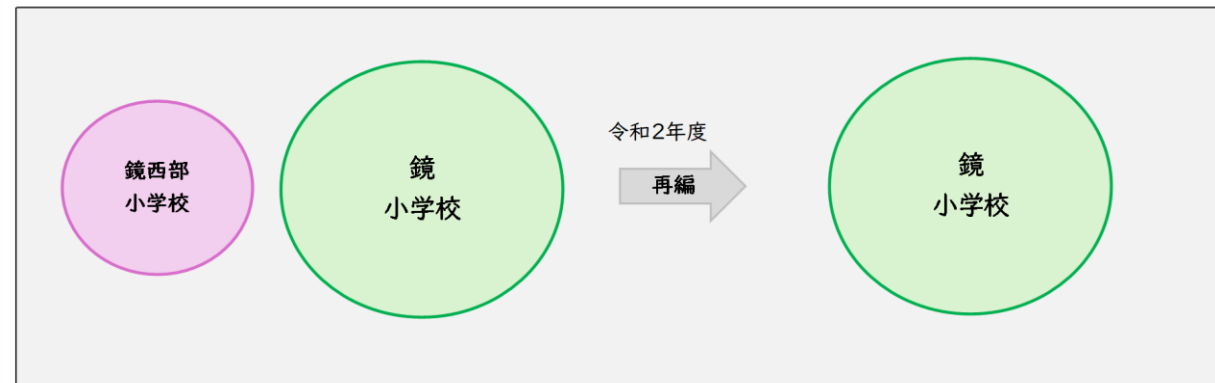
子供たちの安全確保のための登下校の見守り活動や生活支援	様々な教育活動、地域活動への参加による絆づくりと生きがいづくり	教育関係機関・保護者・地域が計画・運営するプランの実施（自然・文化体験事業、長期休業期間中の学童保育等）
地域人材による書道、体育、家庭科、まち探検等における学習支援	学校・家庭・地域の連携・協働とコミュニティ・スクール、地域学校協働活動による地域行事や交流活動の充実	地域人材が子供たちの活動を支えやすい複合施設の整備（コミュニティセンター、地域連携室、学童保育室等）
防災拠点としての機能の充実（耐震化、バリアフリー化、高層化、空調設備・備蓄倉庫・非常用発電機の整備等）	学校施設や跡地の利活用による地域コミュニティの活性化	

# 八代市立学校再編等基本方針 ～子供たちの未来を育む学校づくり～ の概要

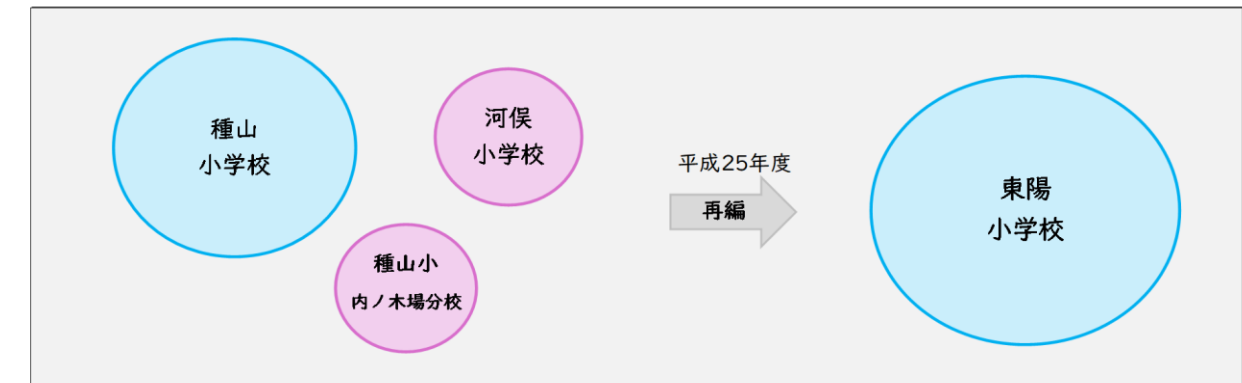
○より良い教育環境づくりを実現するため、時代の変化と社会のニーズに対応できるよう、既存の制度や枠組みにとらわれず、今後の学校の在り方について調査・研究し、学校と地域の実情や生活圏などを踏まえて取り組んでいきます。



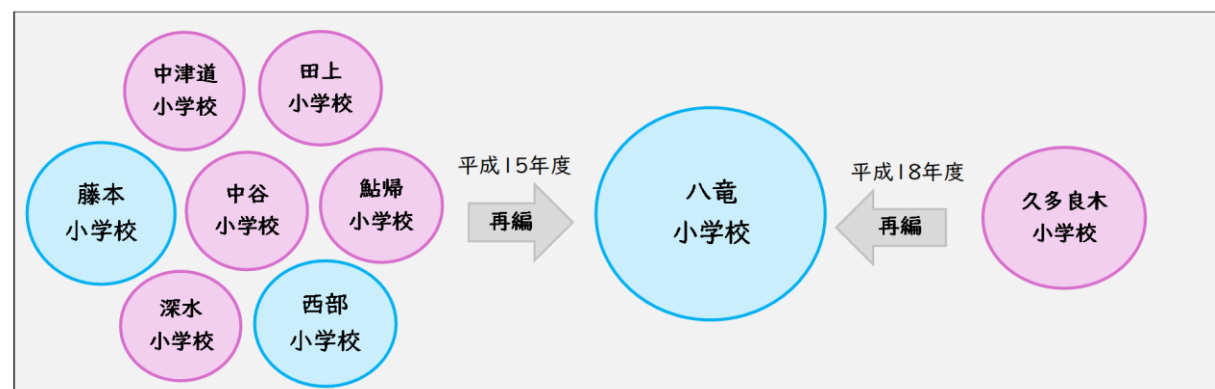
【令和2年度：鏡小学校の例】過小規模と望ましい規模の小学校2校の再編



【平成25年度：東陽小学校の例】過小規模と小規模の小学校2校とその分校の再編



【平成15年度・平成18年度：八竜小学校の例】過小規模と小規模の小学校8校の再編



【平成26年度：泉小・中学校の例】過小規模の小学校3校と中学校1校を小中一貫校に再編



※ 図中の ○ は過小規模の学校、● は小規模の学校、● は望ましい規模の学校を表しています。

○児童生徒への対応（丁寧な説明、再編前の交流学习・交流活動）

○通学の安全確保（児童生徒の実態に応じた通学方法の検討）

望ましい通学距離	望ましい通学時間
通学方法で異なるため数値は設定しない	おおむね60分以内

○保護者及び地域の理解と合意形成（地区懇談会等の開催）

○施設・跡地等の利活用

○関係部局・機関等との連携

発行：八代市教育委員会

編集：教育部 未来の学校づくり推進室

〒866-8601 熊本県八代市松江城町1-25

TEL：0965-45-9887(直通) FAX:0965-33-6147

E-mail：gakusui@city.yatsushiro.lg.jp